

## お客様とともに、環境負荷低減を推進 「第21回物流環境大賞」で部門賞2件受賞

センコー株式会社(社長:福田 泰久、以下「センコー」)が、一般社団法人 日本物流団体連合会(会長:渡邊 健二)から「第21回物流環境大賞」の部門賞2件を受賞しました。

同大賞は、2000年6月に創設され、優れた環境保全活動や環境啓蒙活動、あるいは先駆的な技術開発などで、物流業界の発展に貢献された企業などを表彰する制度です。

受賞内容は、「物流環境保全活動賞」、「物流環境特別賞」の2件です。

「物流環境保全活動賞」では、北越コーポレーション株式会社様(社長:岸本 哲夫)、北越物流株式会社様(社長:丸山 裕司)、日本紙運輸倉庫株式会社様(社長:山田 隆)、イービー産業株式会社様(社長:岡田 崇)、日本貨物鉄道株式会社様(社長:真貝 康一)、センコーの6社が、三重県から新潟県への製紙用原料の輸送において、トラックから鉄道輸送へモーダルシフトを行い、CO2 排出量の削減ならびに輸送の効率化を実現。さらに、新潟県から愛知県への製品輸送で片道となっていたコンテナに帰り荷を積載し、コンテナラウンドユースまで実現したことが評価されました。

「物流環境特別賞」では、積水化学工業株式会社 住宅カンパニー様(社長:加藤 敬太)とセンコーが、北海道から九州における住宅生産会社8拠点への部材輸送を従来、サプライヤー各社から個別にトラック輸送していたものを、埼玉県と奈良県にハブ2拠点を設置し、まとめて納入することで、効率的に輸送し CO2 排出量の削減を実現。さらに、北海道向けの輸送を、トレーラーシャーシを利用し、RORO船・フェリーを活用した海上輸送へモーダルシフトしたことが評価されたものです。

※今回の表彰式は、新型コロナウイルス感染予防の観点から開催されませんでした

以上